加茂地区手をつなぐ育成会 広報

ゆくゆく

第36号

2024年12月

新年のごあいさつ

会長　青木泰子

新年あけましておめでとうございます。

この「ゆくゆく」も第37号までやってまいりました。「あ、ゆくゆくに出てたネ」「読んでますよ」など、お声がけをいただくようになりました。会員の皆様、地域の皆様、どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

今、時代が大きく変わりつつあります。その一つが少子高齢化です。当会も他人事ではありません。親御さんが高齢になり、子供をできるだけ近い施設へ預けたい、近くで生活したいという願いもより強くなっています。

私たち育成会のスローガンであります「障がいのある人が自分らしくいきいきとこの街で暮らしてゆく」がなかなか難しく、他市の施設へ行かれる方がほとんどです。

さて、2月16日（日）に「新年お楽しみ会」を企画しております。二部に懇談会もあります。大勢の方にご参加いただき、皆様のお知恵とお力をお借りして、一人一人の声を育成会の大きな声として、行政をはじめとして各方面に届けてゆきたいと考えております。

巳年の巳（へび）は、「幸せな未来をつかむ」という意味があるそうです。さあ、今年も元気よくスタートしてまいりましょう。よろしくお願いいたします。

おとそ気分

新規会員随時募集中！

正会員と賛助会員の新規会員を随時募集しております。入会金は無料です。

途中入会の場合の年会費は、入会月の翌月より年度末までの月数分となります。

正　会　員　年会費　4,000円

① 加茂市に居住する知的障がい児・者の両親、又は、これに準ずる保護者の方

② 両親等のいない加茂市に居住する知的障がい者の方

賛助会員　年会費　1口2,000円（2口以上）

この会の活動を賛助し、主に財政的支援を行うため、この会に入会した個人又は団体

ご入会のお申し込み、お問い合わせは、お電話（0256-53-8285）にて承ります。

加茂支えあい条例について

令和６年１２月１７日に施行されました「障がいのある人もない人も支えあいともに生きる加茂づくり条例」（略称：加茂支えあい条例）について、加茂市のホームページに掲載されておりますので、是非ご覧ください。

https://www.city.kamo.niigata.jp/docs/301391.html

多くの皆様にこの条例の趣旨をご理解いただき、より障がい者に暖かい加茂市になりますようにご協力をお願い申し上げます。

紙面の都合上、ここでは条例の前文のみを転載します。

＊＊

障がいのある人もない人も支えあいともに生きる加茂づくリ条例　前文

誰もが安心して暮らせるまちとはどのようなまちでしょうか。年齢や性別、障がいの有無、その他の属性に関わらず誰もが相互に人格と個性を尊重し、ともに支えあうまちを加茂市は理想としています。

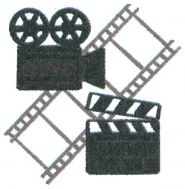
私たちが暮らす加茂市は、豊かな自然と歴史に恵まれ、伝統産業や農業、商店街など多様な産業により栄えてきました。この地域で、誰もがいきいきと望むとおりの暮ら　しや仕事、さまざまな活動ができることは、市民が輝き、未来に続いてゆくまちであるための欠かせない条件です。

加茂市では、総合計画で「ともに支えあい、誰もが安心して健やかに暮らせるまち」をまちづくリの指針に掲げています。誰もが持つ「権利」を実現し、障がいのある人が 当たり前に保育園等や学校、職場、さまざまな活動の場といった地域社会に溶け込み、ともに支えあうまちであるために、障がいや障がいのある人への共感と理解を深める取組を進めます。

障がいのある人も住みよく、一人ひとリが持てる能力を発揮できるまちは、全ての人に住みよいまちです。この条例は、障がい福祉の視点から共生社会の実現を考え、全ての人の安心と未来につながるまちづくリの理念を皆で共有するとともに、市民、事業者、行政機関のそれぞれの役割を明らかにし、果たしていくことを定めています。

この条例に定める具体的な差別解消の取組が加茂市全体に浸透し、障がいのある人もない人も誰もがともに安心して暮らしていける地域の実現に寄与することを目指します。

障がい者が主演（出演）している映画のご紹介 ㊱



今回ご紹介するのは…「学校Ⅱ」

画像は楽天ブックスより転載

1996（平成８）年公開の日本映画、配給は松竹。昨年急逝された西田敏行が主演。山田洋二監督作品「学校」シリーズの第２弾。山田監督の考える障がい児教育とは。高等養護学校を舞台にした障がい児教育に一石を投じる内容。寮生活を送る生徒たち。突然２人の生徒が戻ってこないところから始まる。折り込まれる回想シーンで彼らの性格やこれまでの生活環境などがわかる。西田演じる教師青山龍平が永瀬正敏演じる新人教師小林大輔に、障がい児との関わり合い方を論すところがあり、記憶に残る。後半の熱気球のシーンも示唆に富む。北海道の大自然と人間との関係を映し出す。最後の卒業シーンに涙してしまう・・・卒業後のことを思いながら。（す）

編／集／後／記

今年は、久しぶりに雪のない正月を迎えました。穏やかな年末年始でしたが、風邪、インフルエンザや新型コロナに感染された方々も見受けられました。皆様ご自愛ください。今年は「乙巳（きのとみ）」。「努力を重ね物事を安定させてゆく」という意味があるそうです。焦らず粘り強く取り組む姿勢が実を結んでゆくと。着実に一歩一歩進んでまいりましょう。皆様よろしくお願い申し上げます。（す）

広報「ゆくゆく」
令和７年１月号（第37号）
発　行
加茂地区手をつなぐ育成会
加茂市新栄町 15-36
☎ 0256-53-8285